

歯 髓 と 歯 髓 炎 の 話

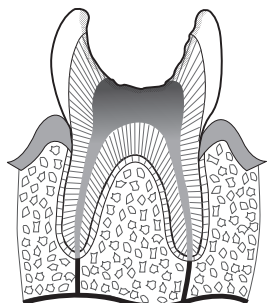
私たちがふだん「歯の神経」と呼んでいる部分は、神経や血管、リンパ管などが詰まった『歯髓』と呼ばれる組織で、歯に栄養を供給しています。病気で歯髓を取ってしまうと、歯には栄養が行きませんから歯は死んでしまいます。歯髓は、歯の生命線とも言えます。

むし歯もごく初期のときは、ほとんど自覚症状がありません。ところが冷たい水がしみる、物を噛み締めたときにズーンと響くように痛む、突然ズキンズキンと激しく痛むなどという症状がでたら、炎症は歯髓にまで広がり『歯髓炎』をおこしています。

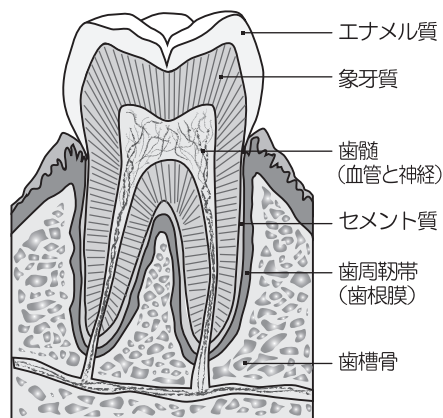
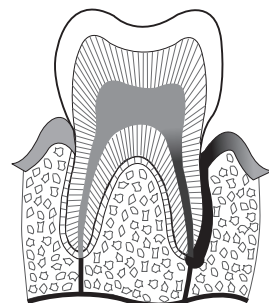
何かにつづかって歯が欠けたり、けがによって歯髓が切れた場合にも、同じような炎症がおきます。

また、歯周病による感染が歯の根の先から歯髓にまで及びことがあります。このようなときにも、激しい痛みを伴う歯髓炎（逆行性歯髓炎）

☺ 通常の歯髓炎



☹ 逆行性歯髓炎



がおきます。

歯髓炎が疑われるような不快感や痛みがおきたら、できるだけ早く受診しましょう。炎症が広がる前に病気を発見できれば、あなたの歯の命を救い、お口の健康を守ることができます。

定期的なチェックで予防につとめ、大切な歯を守りましょう。

KOMIYA DENTAL NEWSLETTER

7 2003年 月号



体調を崩されていませんか？梅雨時は、外気温と空調の関係、そして水分の取り過ぎとで体調を崩しやすいものです。ご注意ください。

さて6月は「むし歯予防デー」、「むし歯予防週間」から始まり、世の中の「歯への関心」が高まります。行事や患者さんの来院も多く、私たち歯科医療従事者も忙しい毎日を送りました。でも、当院の考えは『毎日が「むし歯予防デー」』です。

6月4日には、担当園の「東半田保育園」へ歯科健診と予防指導のために全員参加で参りました。予防指導は年中・年長の園児さんを対象に行いましたが、皆さんとても熱心に聞いてくださり、歯垢染め出しとブラッシング指導も頑張って上手にできました。健診の結果は、「お母さんの考え方と家庭環境」により、各年令に何人かは歯が悪い子がいるようです。乳幼児の医療費はかからなくなったのに、治療の機会が与えられないお子さんが可哀想だと、一同感じました。

6月28日には、恒例の「葛飾区よい歯のつどい」が行われました。各校のむし歯のなかったお子さん、しっかり治療が終了しているお子さんが表彰されますが、これは全国的に見ても、葛飾区のもの歴史は古く、33回を数えます。院長は去年に続き今年も記念講演を任せ、予防のお話を面白おかしく話してきました。

毎月保険証の提示に御協力頂きありがとうございます。
このニューズレターは当院のオリジナルで毎月発行しています。

★ 診療日変更のお知らせ ★

7月19日(土)午後～22日(火) 連休します
8月13日(水)～18日(月) お盆休みです

こみや歯科

〒125-0041 葛飾区東金町1-45-2 ハヤシ駅前ビル2F

☎ 03-5699-8888